

特別会計・企業会計

単位:千円

区分	平成22年度末現在高	平成23年度償還額	平成23年度借入額	平成23年度末現在高
住宅新築資金等貸付事業特別会計	11,467	2,087	0	9,380
国民健康保険診療所特別会計	11,619	2,359	0	9,260
日吉簡易水道特別会計	302,125	15,336	0	286,789
農業集落排水事業特別会計	873,882	82,292	0	791,590
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	130,972	8,108	8,000	130,864
水道事業会計	3,435,798	204,485	0	3,231,313
病院事業会計	173,024	19,424	9,200	162,800
合計	4,938,887	334,091	17,200	4,621,996

基金（一般会計）

単位:千円

基金名	平成22年度末現在高	平成23年度増減高	平成23年度末現在高
財政調整基金	893,290	111,405	1,004,695
減債基金	381	1	382
土地開発基金	(うち現金 174,996)	245	(うち現金 175,241)
	215,925	245	216,170
庁舎建設基金	242,614	24,340	266,954
地域福祉基金	323,800	0	323,800
地域振興基金	420,000	50,000	470,000
交流促進事業基金	180,000	20,000	200,000
廃棄物処理施設整備基金	300,300	100,420	400,720
その他特定目的基金	150,319	72,855	223,174
合計	2,726,629	379,266	3,105,895

基本財産

土地	10,468,511.37 m ²
建物	102,355.53 m ²
有価証券	230,897,000 円

一時借入金状況

単位:千円

一般会計	0
特別会計	0

平成23年度決算に基づく鬼北町財政健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政健全化に関する法律により財政健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

【健全化判断比率】

項目	説明	23年度	22年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	14.85	20.00
②連結実質赤字比率	全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	19.85	35.00
③実質公債費比率	一般会計等が負担する借金返済額(企業会計、一部事務組合を含む)が標準財政規模に占める割合	15.6	16.6	25.0	35.0
④将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき債務(企業会計、一部事務組合、地方公社・三セクを含む)標準財政規模に占める割合	83.9	101.3	350.0	

※標準財政規模とは、標準税収入額と普通交付税交付額及び臨時財政対策債発行可能額の合計をいいます。

健全化判断比率については、いずれも低いほど財政状況が健全であるといえます。

①、②とも黒字であったため、「数値なし」

③、④は、イエローカードと呼ばれる早期健全化基準と比較するとこれを下回っており、前年と比較すると改善しています。

【資金不足比率】

項目	23年度	22年度
水道事業会計	—	—
病院事業会計	—	—
日吉簡易水道特別会計	—	—
農業集落排水事業特別会計	—	—
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	—	—

資金不足比率については、地方公営企業法適用、非適用のいずれの会計も資金不足は生じていません。